

「medicina」第17巻 総目次

1980年 第1号～第13号

数字は通巻頁数，()内は号数，12号は臨時増刊特集号です。

〔今月の主題〕

心臓疾患の臨床(1)

心外膜の機能と構造

河合 祥雄・岡田 了三	6
心臓疾患の臨床	太田 怜 10

〈心臓疾患の診断〉

聴診と心音図	坂本 二哉 12
心X線—血管造影を含む	松山 正也 15
心電図	松尾 修三・橋場 邦武 20
心エコー図	藤井 諄一・他 24
RI	香取 瞭・金政 健 28

〈心臓疾患の主な病型〉

心タンポナーデ	鈴木 茂・新井 達太 30
急性心膜炎	宮里不二彦 33
収縮性心膜炎	沢山 俊民・鼠尾 祥三 36

〈先天性異常〉

心臓欠損症	柳沢 信子 40
心臓嚢胞	稲垣 義明・山崎 茂 45

〈二次性心臓疾患〉

ウイルス性心膜炎	河合 忠一・琴浦 肇 49
結核性心膜炎	青柳 昭雄 52
腫瘍性心膜炎	中山 龍・秋田 穂東 54
全身性エリテマトーデスと心膜炎	柏崎 植夫 56
尿毒症と心膜炎	秋沢 忠男・越川 昭三 58
粘液性腫	伊藤 敬・尾形 悦郎 61
心筋梗塞後症候群	安藤 譲二・安田 寿一 64

〈治療〉

心臓穿刺法	赤塚 宣治 66
心臓の外科	古賀 道弘・高木 博己 68

〈座談会〉

心臓疾患をめぐって	中村 芳郎・坂本 二哉 70
浅野 献一・太田 怜	70
今月の主題・理解のための10題	太田 怜 82

末梢性ニューロパチー(2)

末梢性ニューロパチーとは	祖父江逸郎 166
--------------	-----------

〈基礎知識〉

末梢神経の構造と機能	渡辺 誠介 168
末梢性ニューロパチーの病理(グラフ)	朝長 正徳 171

〈診断〉

分類	古和 久幸 175
主要徴候	安德 恭演・後藤 幾生 178
検査—電気生理学的検査と生検	鳥居 順三 180

〈頻度の多いニューロパチー〉

Guillain-Barré 症候群	濱口 勝彦 186
糖尿病性ニューロパチー	山村 安弘・鬼頭 昭三 188
手根管症候群	飯田 光男 192
変形性脊椎症	片山 宗一 194

〈随伴性末梢神経障害〉

尿毒症性ニューロパチー	宮原 正・平山 隆男 196
膠原病	広瀬源二郎 198
悪性腫瘍	本多 虔夫 200
ビタミン欠乏症	有馬 寛雄・井形 昭弘 203

〈中毒性末梢神経障害〉

アルコール	河野 裕明・高木 敏 206
ピンクリスチン	松岡 幸彦 208
シンナー	斎藤 豊和 210

〈遺伝性ニューロパチー〉

家族性アミロイドーシス	荒木 淑郎 213
Charcot-Marie-Tooth 病	福原 信義 216
遺伝性感覚性ニューロパチー	高須 俊明 219

〈最近注目されているニューロパチー〉

色素沈着，剛毛，浮腫，免疫グロ	西谷 裕 222
プリン異常を伴う慢性多発性神経炎	塚越 廣・栢沼 勝彦 224
Neuralgic Amyotrophy	224

〈座談会〉

末梢性ニューロパチーの診断とその限界	里吉宮二郎・広瀬 和彦 226
朝長 正徳・古和 久幸	226
今月の主題・理解のための10題	古和 久幸 236

肺の炎症性疾患—最近の動向(3)

肺の炎症性疾患の変遷と問題点

滝沢 敬夫	324
形態学からみた肺炎	山中 晃 326

〈診断〉

鑑別診断のすすめ方	伊藤 和彦・高納 修 329
起炎菌とその決定	松本 慶蔵 332
日和見感染—とくに <i>Pneumocystis carinii</i> 肺炎について	森 健・池本 秀雄 334

〈抗酸菌〉

粟粒結核の現状	岡安 大仁・児島 克美 340
乾酪性肺炎	青柳 昭雄 342
非定型抗酸菌症	山本 正彦 346

〈真菌と寄生虫〉

アレルギー性気管支肺	
------------	--

アスペルギルス症	伊藤 章 348
肺吸虫症	辻 守康 350

〈マイコプラズマとウイルス〉

マイコプラズマ肺炎	原 耕平・泉川 欣一 352
オウム病	河合 健・藤野 忠彦 355

〈膠原病とアレルギー〉

リウマチ肺臓炎	重松 信昭・松葉 健一 358
Goodpasture 症候群	荻間 勇・山本 保 361
過敏性肺臓炎	可部順三郎 364

〈反応性肺炎〉

尿毒症性肺炎	光永 慶吉・橋本 憲一 366
放射線性肺炎	吉田 稔・関 雅彦 368
薬剤誘起性肺臓炎	田村 昌士 372

〈その他〉

びまん性間質性肺炎	吉良 枝郎・荒木 高明 374
Fibrosing bronchiolitis	大久保隆男・他 377

〈治療〉

肺感染症に対する抗生物質	最近の進歩
肺結核の短期強力療法	今野 淳・萱場 圭一 384

〈座談会〉

肺炎の鑑別診断とその扱い方	滝沢 敬夫・谷本 普一 386
今月の主題・理解のための10題	金上 晴夫 396

最近の腎疾患の基礎と臨床(4)

腎循環の特徴	杉野 信博 472
糸球体病変の病理所見	馬杉 洋三 474

〈腎疾患の病態〉

腎血管性高血圧	石井 當男 480
ネフローゼ症候群以外の糸球体病	変のとらえ方
土田 弘基	484
尿管障害—酵素活性の面から	遠藤 仁 490

一尿管透過性の面から

藤本 守・内藤 和世	494
一成人の場合	富田 公夫・椎貝 達夫 498
一小児の場合	酒井 糾 502
間質性腎炎	酒井 紀・御手洗哲也 506

〈ネフローゼ症候群の臨床〉

原発性ネフローゼ症候群	稲毛 博実・東條 静夫 510
糖尿病性腎症	木田 寛 514
SLE 腎症	大藤 真・倉田 典之 516

腎アミロイドーシス	内村 英正・長滝 重信 726	問診・診察のすすめ方	牧野 荘平 1008
古山 隆・京極 芳夫 518	一クレチン症, 小児型 中島 博徳 728	IgE の性状と検査	河合 忠 1012
小児のネフローゼ症候群	クレチン症のマス・スクリーニング	レアギンの検出法	
村上 睦美・植田 稔 522	中島 博徳 730		
〈新しい検査法〉	〈珍しい甲状腺疾患〉		
^{99m} Tc-DMSA 腎シンチグラフィ	TSH 分泌異常症 宮井 潔 732	LAI テスト	真野 健次・宮本 昭正 1014
吉田 修・川村 寿一 524	TBG 異常症 紫芝 良昌 736	皮膚テスト	向山 徳子 1018
β_2 -microglobulin 馬場茂明・他 530	Sipple 症候群		高橋 昭三 1020
FDP 松山 公彦・本田 西男 534	小原 孝男・藤本 吉秀 739	〈いろいろなアレルギー〉	
血中免疫複合体と補体系	今月の主題・理解のための10題	食物	柴崎 正修 1022
中山 秀英・大野 丞二 538	鈴木 秀郎 742	薬剤	吉田 浩・柏川 禮司 1025
〈特異な腎疾患〉		真菌	木村 郁郎・谷崎 勝朗 1028
巣状糸球体硬化症 飯高 和成 540	慢性肝炎をめぐる諸問題 (6)	寄生虫	石崎 達 1030
サルコイドーシス腎 大沢 源吾 544	慢性肝炎の概念と定義 亀田 治男 832	花粉	清水 章治・信太 隆夫 1034
IgA 腎症 折田 義正・田中 敏博 548	〈座談会〉	動物	中沢 次夫・小林 節雄 1036
痛風腎 加賀美年秀 550	慢性肝炎の取り扱い方	日常生活用品	猪熊 茂子 1040
〈座談会〉	一考え方から治療まで	〈臓器別の症状と診断のコツ〉	
人工透析のあり方と展望	上野 幸久・奥平 雅彦	皮膚	相模成一郎・大村 友子 1042
前田 貞亮・樋口 順三	奥村 英正・西崎 統 836	眼	三村 康男・湯浅武之助 1045
南郷 英明・西 三郎	〈分類〉	鼻	奥田 稔・大塚 博邦 1050
岩淵 勉 554	病理医の立場から	気管支・肺	可部順三郎 1052
今月の主題・理解のための10題	奥平 雅彦・佐々木憲一 850	肝	山本 祐夫 1054
岩淵 勉 564	臨床家の立場から 鈴木 宏 854	造血器	古沢 新平 1056
	〈経過と予後〉	〈座談会〉	
甲状腺疾患診療の進歩 (5)	慢性肝炎に移行しやすい急性肝炎	アレルギー性疾患の治療—現在と未来	
〈座談会〉	佐々木 博・他 856	信太 隆夫・牧野 荘平	
甲状腺疾患へのアプローチ	慢性肝炎は果して肝硬変の前段階か	中島 重徳・富岡 玖夫 1060	
飯野 史郎・尾形 悦郎	古田 精市・清沢 研道 860	今日の主題・理解のための10題	河合 忠 1074
藤本 吉秀・中島 博徳	HBs 抗原陽性例と陰性例の比較		
鈴木 秀郎 652	太田 康幸・他 864	今日の血液形態学 (8)	
〈トピックス〉	慢性肝炎と肝癌	〈カラーグラフ〉	
視床下部-下垂体系と甲状腺	佐藤 俊一・他 868	知っておきたい血液像	1164
山田 隆司 664	慢性肝炎の予後を判断するには	〈赤血球の形態異常〉	
LATS から HTSAb へ	一肝生検と慢性肝炎の予後	遺伝性球状赤血球症	八幡 義人 1167
一Graves 病の成因 森 徹 668	兼高 達武・土井 優子 872	Spur cell anemia と肝障害	
甲状腺疾患と HLA	一肝機能検査の上から 豊川 秀治 876	前沢 政次 1170	
小西 淳二・鳥塚 莞爾 670	〈成因からみた慢性肝炎〉	Red cell fragmentation syndrome	
甲状腺疾患と妊娠	B型肝炎 矢野 右人 878	宮崎 保・藤本比沙雄 1172	
網野 信行・谷沢 修 674	自己免疫性慢性肝炎	Pyrimidine 5' nucleotidase deficiency	
〈検査〉	蓮村 靖・大宮司有一 882	岸本 進・一二三篤子 1176	
甲状腺機能検査のすすめ方	薬剤性慢性肝炎 浪久 利彦・他 884	ハインツ小体の病態生理	宮地 隆興 1178
飯野 史郎 678	原発性慢性肝炎 志方 俊夫 886	鉄芽球性貧血	
甲状腺ホルモン測定法 満間 照典 684	慢性アルコール性肝炎	厨 信一郎・野村 武夫 1181	
TRH による検査と TSH	池上 文詔・打越 敏之 888	〈白血球の形態と機能〉	
稲田 満夫 688	〈治療〉	顆粒球機能の異常	辻 芳郎 1184
甲状腺腫の診断と検査の選び方	副腎皮質ステロイドおよび	Chediak-Higashi 病	
一主として腫瘍性疾患について	免疫抑制剤の適応と限界	東 音高・谷田部道夫 1186	
藤本 吉秀・小原 孝男 691	患者管理 河田 肇 894	〈白血球細胞の形態学〉	
超音波診断とX線診断 (グラフ)	今月の主題・理解のための10題	表面形質による白血球細胞の分類	
藤本 吉秀・小原 孝男 694	上野 幸久 898	下山 正徳・湊 啓輔 1188	
甲状腺シンチグラムと病理		白血球細胞とターミナル	
(カラーグラフ) 鳥塚莞爾・他 699	アレルギーの現況 (7)	トランスフェラーゼ	坂本 忍・他 1193
〈Graves 病〉	アレルギーの概念	Adult T-cell leukemia	
病態 鎮目 和夫 704	光井庄太郎 988	松元 實・野村紘一郎 1198	
どの治療を選ぶか	〈基礎知識〉	Prolymphocytic leukemia	
伊藤 國彦 706	組織障害の病理	溝口 秀昭 1200	
非外科的治療	下川 保夫・張田 信吾 990	8; 21 転座型急性骨髄性白血病	
五十嵐徹也・尾形 悦郎 710	組織障害の化学	鎌田 七男・岡田 浩佑 1203	
外科的治療	江田 昭英 994	Subacute および chronic myelomonocytic leukemia	
牧内 正夫 716	レアギン産生の調節機序		
クリーゼ	高津 聖志 998		
小島 至 720	アレルギー性好酸球増多症の機序		
山本 通子 720	山本 昇壮 1004		
眼球突出症との関係	〈診断・検査法〉		
〈原発性甲状腺機能低下症〉			
病態 榎本 仁志・入江 実 724			
治療—成人型			

中山 志郎・星野 孝 1260	Refractory anemia with excess of myeloblasts
朝長万左男 1208	Hairy cell leukemia
三好 勇夫 1211	リンパ球の形態
T-cell, B-cell の走査電顕像	
広瀬 優子・紺田 進 1214	悪性リンパ腫の分類—最近の傾向
若狭 治毅 1216	Immunoblastic lymphadenopathy
小島 瑞・阿部 正文 1218	血小板の形態
ITP と血小板の kinetics	
鯉江 捷夫 1222	Bernard-Soulier 症候群
山田 兼雄・稲垣 稔 1224	骨髓増殖性疾患と血小板の異常
大熊 稔 1226	座談会
臨床家のための血液形態学	
三輪 史朗・前川 正	
浦野 順文・高久 史麿 1228	今月の主題・理解のための10題
高久 史麿 1238	
脾と胆道疾患 (9)	
脾・胆道疾患の相関 亀田 治男 1320	
日本における脾・胆道疾患の特徴	
石井 兼央 1222	病態生理
脾外分泌機能とその調節	
竹内 正・他 1324	脾炎発生に關与する諸因子
八田 善夫・他 1326	胆石の生成と胆汁の生化学
大菅 俊明 1328	診断のすすめ方
急性脾炎の診断のすすめ方	
早川 哲夫 1332	慢性脾炎の診断基準
本間 達二・長田 敦夫 1336	脾・胆道系の悪性腫瘍
久保 勝彦・田辺 正也 1338	胆石・胆嚢炎のみかた 松崎 松平 1342
脾ホルモン産生腫瘍の診断	
遠藤 巖 1344	画像診断法とその限界
経皮経肝胆道造影 (PTC)	
土屋 幸浩・大藤 正雄 1348	内視鏡的逆行性胆道・膵管造影 (ERCP)
春日井達造 1352	脾・胆道疾患における血管造影
平松 京一 1356	X線 CT スキャンニング
木下 文雄・前川 全 1363	脾・胆道疾患の超音波診断
北村 次男 1366	新しい診断法
アミラーゼアイソザイム測定とその意義 菅野 剛史 1370	脾癌の免疫生化学的診断
土屋 雅春・熊谷 直樹 1372	

脾生検—超音波画像ガイド経皮的 脾生検を中心に	木村 健・山中 恒夫 1374
PFD	久保 保彦・桑原 靖道 1378
治療における諸問題	脾炎の薬物療法の現況
石井 裕正・高木 俊和 1380	胆汁酸による胆石溶解療法
桐生 恭好・船津 和夫 1382	silent stone の取り扱い方
武内 俊彦・宮治 眞 1386	胆嚢・胆管炎の抗生物質療法と手術適応
加藤 繁次 1390	胆嚢摘出後症候群
相馬 智 1392	座談会
脾・胆道疾患診療の実態	本間 達二・菅田 文夫
尾形 佳郎・石井 裕正 1396	今月の主題・理解のための10題
石井 裕正 1406	感染症—治療の実態 (10)
抗生剤の最近の進歩	鳥飼 勝隆 1480
抗生物質の基礎知識	蛋白結合率
深谷 一太 1482	薬物動態
中野 重行 1484	抗生物質の使い方
えらび方	清水喜八郎 1490
使用量・使用期間	斎藤 玲 1492
臓器障害のあるとき	小林 譲 1496
起炎菌別の特異性	真菌症
北原 光夫 1500	無芽胞嫌気性菌感染症
小林 章男・菅野 治重 1502	ウイルス感染症
武内 可尚 1505	寄生虫症
大友 弘士 1508	小児感染症としてのマラリア
大友 弘士・日置 敦巳 1512	リケッチア感染症
橘 宣祥 1516	クラミジア感染症
徐 慶一郎 1518	性病
岡本 昭二 1520	臓器感染症の治療法
脳炎・髄膜炎	高瀬 貞夫・中村 正三 1522
扁桃炎・副鼻腔炎・中耳炎・外耳炎	古内 一郎・馬場広太郎 1526
肺炎	松本 慶蔵 1528
肺結核	青柳 昭雄 1531
細菌性心内膜炎	雨宮 武彦 1534
急性胆のう炎・胆管炎	佐藤 寿雄・高橋 涉 1537
消化管感染症	大貫 寿衛 1540
尿路感染症—とくにその捉え方	大沢 炯 1542
その他の治療法	compromised host における治療
高橋 隆一 1550	好中球輸血
飯塚 敦夫 1552	α グロブリン製剤
藤井 良和 1556	座談会
新しい感染症	清水 長世・大友 弘士
藪内 英子・中村毅志夫 1560	

今月の主題・理解のための10題	中村毅志夫 1574
高血圧症—最近の動向と展望 (11)	高血圧症の疫学—最近の成果
小町 喜男 1656	成因と病態生理
遺 伝	家森 幸男 1660
食 塩	竹下 彰 1662
中枢神経系—調圧神経の中枢反射機序	中村 圭二 1665
カテコールアミン・交感神経系	三浦 幸雄 1670
レニン・アンジオテンシン系	笹栗 学・荒川規矩男 1672
カリクレイン・キニン系	プロスタグランディン
阿部 圭志 1674	内分泌因子
竹田 亮祐・森瀬 敏夫 1679	血行動態
柳沼 淑夫 1682	診断
高血圧診断法の最近の進歩	田中 敏行・池田 正男 1684
血圧の経時的測定法と連続的測定法	柄久保 修・野田 和正 1686
血圧の日内変動と家庭測定	土屋 雅之 1690
腎血管性高血圧症	村山 猛男・河辺 香月 1694
副腎性高血圧	福地 總逸 1697
先天性副腎過形成と高血圧	遠藤 義晃・三浦 清 1700
妊娠性高血圧	猿田 享男 1703
治療	病態に応じた降圧剤の選択
尾前 照雄・阿部 功 1707	境界域高血圧、収縮期性高血圧
飯村 攻 1710	降圧薬の臨床薬物動態
海老原昭夫 1712	α 遮断薬
三須 良史・久保 孝夫 1714	β 遮断薬
築山久一郎・大塚 啓子 1716	レニン・アンジオテンシン系阻害薬
宮森 勇・他 1719	カルシウム拮抗薬
草野 英二・浅野 泰 1722	高血圧の地域管理
旗野 脩一 1725	座談会
高血圧の治療—最近の進歩を語る	猿田 享男・阿部 圭志
築山久一郎・海老原昭夫 1728	今月の主題・理解のための10題
海老原昭夫 1738	内科医に必要な脳神経外科の知識 (13)
脳神経外科はどう変わったか	北村 勝俊 2204
脳血管障害	クモ膜下出血の診断
戸谷 重雄・小林 一夫 2206	破裂脳動脈瘤の自然歴
太田 富雄 2208	破裂脳動脈瘤と脳血管攣縮

破裂脳動脈瘤の手術—早期手術	水上 公宏・宇佐美 卓 2214
高久 晃・甲州 啓二 2216	
一意図的晩期手術 秦 才賢・他 2220	
手術適応—脳動静脈奇形 菊池 晴彦 2226	
—高血圧性脳内血腫	
中島健二・伊藤善太郎 2230	
—閉塞性脳血管障害 小野 博久 2234	
脳血管モヤモヤ病	
米川 泰弘・半田 肇 2238	
脳血管障害の血管造影	
—読影のポイント (グラフ)	
矢田 賢三 2242	
〈脳腫瘍〉	
各種脳腫瘍の頻度 野村 和弘 2248	
CT でどこまで診断がつくか	
小林 直紀 2252	
診断と予後—聴神経腫瘍	
松本 圭蔵 2256	
—脳幹部グリオーマ 米増 祐吉 2262	
下垂体腫瘍とホルモン	
魚住 徹・森 信太郎 2266	
グリオーマの治療	
高倉 公明 2270	
〈脊髄・脊椎疾患〉	
頸部脊椎症 角家 暁 2274	
脊髄腫瘍 阿部 弘 2278	
脊髄動静脈奇形 矢田 賢三 2282	
〈注意しておきたい疾患〉	
慢性硬膜下血腫 関野 宏明 2286	
正常圧水頭症 坪川 孝志 2290	
〈今日の治療〉	
三叉神経痛 岩隈 勉 2294	
顔面痙攣 近藤 明恵 2296	
脳浮腫 中川 翼 2300	
手根管症候群 橘 滋国 2302	
〈座談会〉	
知っておきたい脳神経外科の進歩	
小野 博久・高倉 公明	
小林 直紀・矢田 賢三 2304	
今月の主題・理解のための10題	
矢田 賢三 2314	
胸部X線写真の読み方	
正常像 松山正也・徳田 裕 (1) 90	
シルエット・サイン	
松山正也・徳田 裕 (2) 246	
実質性病変と間質性病変	
松山正也・甲田英一 (3) 404	
縦 隔 松山正也・甲田英一 (4) 572	
肺門部肺癌	
松山正也・江口研二 (5) 756	
肺野型肺癌	
松山正也・江口研二 (6) 908	
心臓・肺血管陰影のみかた	
松山正也・前田如矢 (7) 1079	
弁膜疾患 松山正也・前田如矢 (8) 1246	
先天性心疾患 (1)	
松山正也・原 典良 (9) 1412	
同 上 (2) 松山正也・原 典良 (10) 1580	
大動脈疾患	
松山正也・村松 準 (11) 1742	
心陰影の拡大	
松山正也・村松 準 (13) 2318	

演習・放射線診断学 CT スキャン読影のコツ

胆道系 荒木 力 (1) 98	
脾 臓 板井 悠二 (2) 254	
副 腎 古井 滋 (3) 410	
腎 臓 八代 直文 (4) 580	
骨 盤 吉川 宏起 (5) 764	
骨・筋肉病変 荒木 力 (6) 916	
神経放射線学	
頭部外傷 前原 忠行 (7) 1087	
脳血管障害 (1)	
八代 直文・前原 忠行 (8) 1254	
同 上 (2)	
古井 滋・前原 忠行 (9) 1420	
同 上 (3) クモ膜下出血	
吉川 宏起・前原 忠行 (10) 1588	
脳腫瘍 (1) 神経膠腫と転移性腫瘍	
八代 直文・前原 忠行 (11) 1752	
同 上 (2) 頭蓋内髄膜腫	
古井 滋・前原 忠行 (13) 2326	

プライマリ・ケア

私たちの見たアメリカのプライマリ・ケア (1)	
安田 勇治・岩崎 靖雄	
菊地 博・伊藤 清次	
鈴木 莊一・渡辺 淳 (1) 140	
同 上 (2)	
安田 勇治・岩崎 靖雄	
菊地 博・伊藤 清次	
鈴木 莊一 (2) 288	
多摩ニュータウンにおける	
メディカルプラン (1)	
小松 真・田中 恒男	
中村 弘夫・本郷 元夫 (3) 446	
同 上 (2)	
小松 真・田中 恒男	
中村 弘夫・本郷 元夫 (4) 615	
プライマリ・ケアへの提言 (1)	
—農村地域医療の実践から	
若月 俊一・本吉 鼎三 (5) 807	
同 上 (2)	
若月 俊一・本吉 鼎三 (6) 960	
救急医療を考える (1)	
熊田 正春・木村 勝直	
岡部 純一・安田 勇治 (7) 1126	
同 上 (2)	
熊田 正春・木村 勝直	
岡部 純一・安田 勇治 (8) 1292	
地域医療を考える (1)	
—上郷健康センターの活動に学ぶ	
宮原 伸二・本田 三郎	
永井友二郎 (9) 1458	
同 上 (2)	
宮原 伸二・本田 三郎	
永井友二郎 (10) 1622	
プライマリ・ケアの実践 (1)	
渡辺 淳・新野 稔	
本吉 鼎三 (11) 1794	
同 上 (2)	
渡辺 淳・新野 稔	
本吉 鼎三 (13) 2363	

目でみるトレーニング

大和田 隆・小林 武夫	
川上 澄 (1) 104	
休 載 (2)	
水上 公宏・他	
朝長 正徳・島田 英世 (3) 416	
水上 公宏・他	
朝長 正徳・島田 英世 (4) 590	
水上 公宏・他・高木 健三	
櫻林郁之介・島飼 勝隆 (5) 774	
水上 公宏・他・石川 英一	
松井 瑞夫・島田 英世 (6) 924	
水上 公宏・他・櫻林郁之介	
石川 英一・島田 英世 (7) 1094	
櫻林郁之介・石川 英一	
島飼 勝隆 (8) 1262	
朝長 正徳・水上 公宏・他	
井出 宏嗣・他 (9) 1428	
休 載 (10)	
長廻 紘・長谷川かをり	
朝長 正徳 (11) 1759	
休 載 (13)	

臨床免疫学講座／堀内 篤・他

免疫応答とそれに関与する細胞	
—細胞性免疫を中心に (1) 114	
免疫不全と疾患 (2) 262	
感染と生体防御反応 (3) 424	
免疫グロブリンと疾患 (4) 596	
免疫学的寛容と自己免疫疾患 (5) 780	
免疫と遺伝 (6) 932	
免疫複合体と疾患 (7) 1102	
移植と GVH 反応 (8) 1270	
母児間の免疫反応 (9) 1436	
補体とその異常 (10) 1596	
どのような免疫能検査が行われるか (11) 1756	
免疫抑制療法と免疫賦活療法 (13) 2340	

Laboratory Medicine

異常値の出るメカニズム／屋形 稔・他	
22. LH, FSH (1) 120	
23. 甲状腺ホルモン (2) 268	
24. コルチゾール (3) 430	
25. レニン・アンギオ	
テンシン・アルドステロン (4) 602	
26. カルシウム調節ホルモン (5) 784	
27. インスリン, Cペプチド (6) 938	
28. アンドロジェン (7) 1108	
29. エストロジェン,	
プロジェステロン (8) 1274	
30. プロラクチン (9) 1442	
31. バゾプレシン (10) 1602	
32. カテコラミン (11) 1770	
33. 消化管ホルモン	
—ガストリンとセクレチン (13) 2346	

老人診療のコツ／大友 英一

老化は乾燥の過程—脱水を忘れるな (1) 124	
不定の精神症状, 意識障害,	

神経症状—まず慢性硬膜下出血を 考える	(2) 272
肺炎は発熱のみで、 —無熱でも肺炎を疑え	(3) 434
鎮静剤は鎮生剤—投与量は慎重に	(4) 606
常に心不全を考える —すべては心不全へ	(5) 788
めまいは重篤な症状	(6) 942
発症不明の運動障害—動作緩慢、自 発性低下はパーキンソン病を疑え	(7) 1112
無症状でも心筋梗塞	(8) 1278
診断のむずかしい胃腸疾患 —不定の胃腸症状は？	(9) 1446
ばけの対策 (1)	
—ばけはなごせこるか	(10) 1606
同上 (2)—ばけの診断と治療	(11) 1774
老年者の黄疸は重篤 —まず悪性腫瘍を考える	(13) 2350

図解病態のしくみ

消化器疾患／松枝 啓	
9. 下痢 (2)	(1) 130
10. 同上 (3)—急性下痢	(2) 276
休 載	(3~10)
11. 過敏性大腸症 (1)	
—病態生理・その1	(11) 1778
12. 同上 (2)—ストレスの意義	(13) 2354

新しい栄養学の知識

生体リズムと栄養 林 伸一	(1) 136
休 載	(2)
蛋白質の特異動的作用 林 伸一	(3) 442
休 載	(4)
Dietary fiber 印南 敏	(5) 798
ストレスと栄養 鈴江緑衣郎	(6) 950

臨床講座＝癌化学療法

急性白血病の化学療法 稲垣 治郎・小川 一誠	(5) 794
癌化学療法の原則 小川 一誠・室崎 志朗	(6) 946
肺癌の化学療法 井上 雄弘・小川 一誠	(7) 1118
胃癌の化学療法 名倉 英一・小川 一誠	(8) 1282
乳癌の化学療法 稲垣 治郎・小川 一誠	(9) 1450
悪性リンパ腫の化学療法 堀越 昇・小川 一誠	(10) 1616
悪性黒色腫の治療 江崎 幸治・小川 一誠	(11) 1782
ホジキン病の化学療法 江崎 幸治・小川 一誠	(13) 2358

外来診療・ここが聞きたい

休 載	(1)
腎尿管結石の follow up 基準 和久 正良・西崎 統	(2) 282
くり返す尿路感染症 和久 正良・西崎 統	(3) 438

不眠の訴え 伊藤 斉・西崎 統	(4) 610
マイナー・トランキライザー 長期連用の問題点 伊藤 斉・西崎 統	(5) 802
若年性高血圧 稲垣 義明・西崎 統	(6) 954
高齢者の高血圧 稲垣 義明・西崎 統	(7) 1122
赤血球増加傾向のとき 山口 潜・西崎 統	(8) 1286
白血球分画異常をみたとき 山口 潜・西崎 統	(9) 1454
高尿酸血症の及ぼす影響 佐々木智也・西崎 統	(10) 1610
右足関節痛、RA テスト(+)のとき 佐々木智也・西崎 統	(11) 1788
休 載	(13)

目でみる心筋梗塞／堀江 俊伸

連続切片からみた冠状動脈血栓 (1)	86
心電図所見と剖検所見の対比 (2)	242
心筋梗塞後の心室瘤 (3)	400
冠状動脈造影所見と組織像の対比 (4)	568
解離性大動脈瘤に続発した 心筋梗塞 (5)	752
川崎病に続発した心筋梗塞 (6)	904

medicina CPC

呼吸困難と高度の肝機能障害を 示した22歳男性の1剖検例 斉藤 久雄・山下 秀光 中村 嘉孝・村上 義次 太田 怜 (2)	296
全身リンパ節腫大、肝腫大、呼 吸困難を主訴とする39歳男の 例 亀井 徹正・竹越 國夫 井上 雄弘・坂本 穆彦 金上 晴夫 (4)	622
小児期から出血傾向を有する45 歳男の例 (CC) 久藤 文雄・赤塚 祝子 畑 隆志・高橋 隆一 (10)	1626

第143回呼吸器臨床懇話会

呼吸器疾患の臨床における形態 と機能 (その1) —症例を中心とした問題の解析 岡安 大仁・芳賀 敏彦 堀江 孝至・谷合 哲 杉田 博宣・松井 泰夫 田中 元一・関根球一郎 森成 元・可部順三郎 吉岡 一郎・河端 美則 岩井 和郎 (7)	1132
同上 (その2) 岡安 大仁・可部順三郎 芳賀 敏彦・岩井 和郎 吉岡 一郎・松井 泰夫 堀江 孝至・折津 愈	

田中 元一・杉田 博宣 河端 美則・大塚 盛男 穴戸 真司・関根球一郎 (8)	1300
---	------

海外レポート／須永 俊明

アメリカにおけるプライマリー・ ケアと研修体系 (1)—General Medicine と Family Medicine (6)	978
同上 (2)—Family Medicine 教 育の実際と Family Medicine Cli- nic でのトレーニング (7)	1144

診療相談室

慢性骨髓性白血病急性転化の完 全寛解導入後の治療 山口 潜 (8)	1241
---	------

他科のトピックス

医薬品による精神障害 融 道男 (1)	158
レーザーメスによる脳腫瘍の 手術 滝澤 利明 (2)	310
風疹生ワクチン —その特徴とポリシー 植田 浩司 (3)	452
子宮外妊娠の内視鏡的治療 柴田 直秀 (4)	644
人工血液の臨床応用—腎移植 本多 憲児 (5)	814
体外受精 鈴木 秋悦 (6)	966
子どもの自殺 稲村 博 (7)	1140
緑内障の薬物療法 —とくにβ遮断剤について 高瀬 正彌 (8)	1240
人工透析による精神病治療 金子 嗣郎 (9)	1464
リウマチの極低温運動療法 山内 寿馬・三浦 和也 (10)	1620
ポジトロン CT 館野 之男・穴戸 文男 (11)	1800
中枢神経系の内視鏡 福島 孝徳 (13)	2335

紫煙考

煙の科学 (1)	浅野 牧茂 (1) 154
同上 (2)	浅野 牧茂 (2) 293
喫煙と喉頭癌	佐藤 武男 (3) 462
タバコの排気ガス	外山 敏夫 (4) 640
ニコチンの薬理作用 柳田 知司 (5)	816
喫煙と脳卒中 家森 幸男・木原 正博 (6)	968
喫煙と免疫能低下	大成 浄志 (7) 1142
無煙国家づくりをめざして 福田 勝洋 (8)	1312
各国の喫煙・禁煙事情 福田 勝洋 (9)	1472
タバコと血流	浅野 牧茂 (10) 1638
タバコと消化管	梅田 典嗣 (11) 1804
愛煙家のつぶやき	太田 怜 (13) 2368

天 地 人

寒翁が馬
タバコと健康問題
処方箋
仙人と錬金術
ある教授の言葉
なるべくなら
色香に迷う
国民的な才能
妙な理屈
女性と美しさ
モンテーニュの旅
二足の草鞋

天 (1) 153
宙 (2) 309
北 (3) 455
万 (4) 635
地 (5) 819
天 (6) 971
人 (7) 1151
恵 (8) 1307
天 (9) 1467
越 (10) 1643
京 (11) 1807
浪 (13) 2371

オスラー博士の生涯／日野原重明・他

休 載 (1)
79. 傷心のうちにもオスラー文
庫の目録作りにはげむ (1918
年) (2) 312
80. "Aequanimitas" (3) 456
81. 本と人 Books and Men
—1910年1月 Boston Medical
Library の落成記念講演 (4) 636
82. オスラーの最後の文化講演
(1818年) (5) 820
83. オスラー最後の文化講演
(古典協会長として, 1919年) (6) 972

84. 教えることと考えること
—医科大学における2つの機能 (7) 1152
85. 満70歳の誕生日を迎えて
(1919年) (8) 1308
86. オスラーの最後の社会的活
動 (1919年) (9) 1468
87. オスラーの宿病との闘い
(1919年) (10) 1644
88. 医学の座右銘 (The Master-
word) (その1)
—医学生へのメッセージ (11) 1808
89. オスラーの医学生へのメッ
セージ—医学の座右銘 (その2) (13) 2372